PLAMO 通信　29

長らく「PLAMO 通信」をお休みしておりました。

約 2 年間配信が滞っており皆様にはご心配をおかけいたしました。

その間も PLAMO では様々な取り組みを停滞することなく行っております。

今回の PLAMO 通信は、皆様にご好評を頂いております、「IMP ブロック」に新たな成果が生まれましたことをご報告いたします。

クラックレス成形の可能性

写真左は従来の IMP 工法により成形したブロック、赤矢印部にウネリ線が確認できます。この線の内部にクラックが発生しています。
対して写真右にはウネリ線が確認されません。X 線 CT にて内部欠陥を確認しましたが、クラックは確認できません。（左右同材料　同形状）

IMP ブロックは全ての樹脂材料において厚肉ボイドレスで成形が行えておりますが、唯一クラックの発生が一部の樹脂材料に起こります。IMP ブロックは切削用途として使用されますので、クラックの内部欠陥は在ってはならない大きな問題でした。この現象はいくつか要素が重なった際に発生しますが、今回成形技法を改良することで今までクラックが抑えられない材料においてクラックを抑えることに成功しました。

未だ試験段階であり、これから様々な検証を行いながら技術を構築してまいります。

今後も PLAMO の技術の進化をご期待ください。

2023/9/10

Copyright (c) 2020 プラスチック成形・加工/PLAMO All rights reserved.